

【北海道庁から】北海道地域おこし協力隊メールマガジン

北海道 総合政策部 地域創生局 官民連携推進局

■■■■■■■■■■ 北海道の地域おこし協力隊の方々にお届けする
■■■■■■■■■■ メールマガジン♪
■■■■■■■■■■ 研修会やイベントの開催情報
■■■■■■■■■■ 全道各地で活躍する地域おこし協力隊の活動状況、
■■■■■■■■■■ 定住・起業の支援情報などを発信します。

■目次

- 【1】「令和5年度地域おこし協力隊全道研修・交流会」無事終了！
- 【2】「地域おこし協力隊自治体職員向け研修」を開催しています！
- 【3】「ほっかいどう地域おこし協力隊」ポータルサイトをご存知ですか？
- 【4】西塔さん連載企画！～第20回「協力隊の募集に応募を集めるには」文 西塔大海さん（さとのば大学講師）
- 【5】「道南地域おこし協力隊ネットワーク」活動状況報告
- 【6】「とがち地域おこし協力隊ネットワーク（TCN）」活動状況報告
- 【7】【日本政策金融公庫】創業セミナーのご案内

【1】「令和5年度地域おこし協力隊全道研修・交流会」無事終了！

11月6日（月）にアスティホール（札幌市）で「令和5年度 地域おこし協力隊全道・研修交流会」を開催しました。

全道各地から協力隊員がなんと総勢「138名」が集合し、道の施策説明や総務省地域おこし協力隊サポートデスク専門相談員の藤井さんの講演、「道南地域おこし協力隊ネットワーク」代表の藤谷さんの事例発表のあと、隊員の活動ジャンル毎にグループワークを行いました！

翌日7日には、官民交流サロンCONNECT（道庁2階）と水産ビルの2会場で、隊員活動や任期終了後の起業・就業等について専門機関等に相談できる個別相談会を実施しました！

普段はそれぞれで地域活動をされている皆さんですが、隊員同士、悩みや課題の共有や情報を交換できる機会となったのではないのでしょうか。

研修会の様子は後日動画で発信しますので、お楽しみに！

【令和5年度地域おこし協力隊全道研修・交流会】詳細

1日目「研修・交流会」

▼日時

令和5年(2023年)11月6日(月)13:30～19:00

▼場所

アスティホール（札幌市中央区北4条西5丁目1 アスティ 45 4F）

▼プログラム

- ・北海道の施策説明（官民連携推進局）
- ・講演「協力隊の出口戦略と協力隊ネットワークの意義」
（一社）岡山県地域おこし協力隊ネットワーク代表 藤井 裕也 氏
- ・事例発表「ネットワークの設立経緯と取組内容」
道南地域おこし協力隊ネットワーク代表 藤谷 周平 氏
- ・グループワーク「分野別意見交換」
- ・交流会※参加希望者のみ

2日目「個別相談会・マッチング」

▼日時

令和5年(2023年)11月7日(火)9:00~12:00

▼場所

官民交流サロン「CONNECT」(札幌市中央区北3条西6丁目 北海道庁 本庁舎2F)
北海道第2水産ビル5階 5階会議室(北海道札幌市中央区北3条西7丁目1)

【2】「地域おこし協力隊自治体職員向け研修」を開催しました！

道では、道内の3会場で「令和5年度地域おこし協力隊自治体職員向け研修」を開催しました。今年度は〈完全参集+意見交換メイン〉のプログラムとしています。ご参加いただいた職員の皆さん、研修への参加を大変ありがとうございました！

研修は残すところ釧路会場のみとなっており、全道どこからでも参加可能ですので、参加ご希望の方は管内の振興局もしくはサポート推進室までご連絡ください！

▼プログラム(全会場共通)

- ・説明
「道の施策説明」(官民連携推進局地域おこし協力隊サポート推進室)
- ・講演
「外部人材が地域に入って活動する上での心構えと地域にとって必要な支援とは」
(NPO法人ふるさと回帰支援センター副事務局長 稲垣 文彦氏)
- ・グループトーク「失敗を次にどう活かすか」
- ・グループワーク「協力隊シミュレーションゲーム」

▼開催結果

[札幌会場]

・日時

2023年11月13日(月)13:30~17:30

・場所

北海道第二水産ビル4階 4S会議室(札幌市中央区北3条西7-1)

・参加者数

20名(市町村16名・振興局4名)

[旭川会場]

・日時

2023年11月14日(火)13:30~17:30

・場所

アートホテル旭川3階 ボールルームI(旭川市7条通6丁目)

・参加者数

15名(市町村14名・振興局1名)

[函館会場]

・日時

2023年11月20日(月)13:30~17:30

・場所

函館アリーナ1階 多目的会議室A(函館市湯川町1-32-2)

・参加者数

13名(市町村11名・振興局2名)

▼今後開催予定

〔釧路会場〕

・日時

2023年12月11日（月）13:00～17:00

・場所

釧路市交流プラザさいわい1階 多目的ホール（釧路市幸町9-1）

・参加者

現在募集中！！（お申し込みは各（総合）振興局地域政策課もしくはサポート推進室（011-204-5791）までお問い合わせください）

【3】「ほっかいどう地域おこし協力隊」ポータルサイトをご存知ですか？

みなさまは「ほっかいどう地域おこし協力隊」ポータルサイトをご存知でしょうか？

道では、10月に「『ほっかいどう地域おこし協力隊』ポータルサイト」をオープンし、道内で地域おこし協力隊になりたい方や道内の現役地域おこし協力隊員に向けた情報発信を行っています。また、市町村の募集情報等も掲載可能です。

▼ポータルサイトの概要

道内市町村の隊員募集情報や隊員紹介、イベント・研修会の開催情報等を一元的に発信しています。

▼「ほっかいどう地域おこし協力隊」ポータルサイトはこちらから

URL：<https://hokkaido-chiikiokoshi.jp/>

▼ポータルサイトのコンテンツ

（1）募集情報

道内の隊員募集情報を掲載しています。エリア毎での検索はもちろん、月額の給与、勤務日数など、条件面を絞り込んでの検索も可能です！

（2）隊員紹介

道内の隊員の活動内容や隊員になった理由を掲載しています。隊員になりたい方だけでなく、現役隊員も活用することで他の隊員と繋がるきっかけになります。

（3）地域紹介

各地域の概要に加え、現在活動している協力隊の人数やアクセス、病院・学校などの施設情報も掲載しています。北海道への移住を検討している方必見です！

（4）研修会・イベント

道主催の研修会や協力隊主催のイベントを掲載しています。特に現役隊員にとって有益な研修会情報を掲載しておりますので、随時チェックしてみてください。

▼募集情報等を掲載できます！！

隊員募集やイベント・研修会等の情報の掲載を希望する市町村や隊員においては、所定の様式と写真を用意の上、お気軽に地域おこし協力隊サポート推進室（chiiki.okoshi@pref.hokkaido.lg.jp）までご連絡ください。

※様式が無い場合はサポート推進室までご連絡ください。

【4】西塔さん連載企画！～第20回「協力隊の募集に応募を集めるには」文 西塔大海さん（さとのば大学講師）

今回のテーマは「協力隊の募集に応募を集めるには」です。

今年も協力隊募集が最も増える時期になってきました。現在550件を超える募集が出ています。なかには応募者がなかなか集まらない自治体もあります。それは、知名度がないからでも、情報

は届いていないからではありません。応募がこないのは、応募者が皆さんの考えた業務内容に魅力を感じていないからです。

魅力的な業務とは何か。

応募者が、「これなら私にもできそうだし、面白そう！」と思ってもらえるものです。言い換えるなら、「できそう×面白そう」な業務に応募が集まっているのです。

志願者の多くは地域づくりや農業、商品開発などの募集テーマに関して素人です。社会人経験が少ない 20 代も 3 割以上います。そんな人でも、募集要項を読んだ時に「これなら私でもできそう！」と思えることが、応募が集まる業務設計の第一の要素となります。そのためには、業務内容が具体的である必要があります。協力隊は会計年度任用職員が原則ですので、業務指示書を作るイメージで詳細に書いてみてください。「情報発信すること」という四文字熟語で済ませるのではなく、「誰に向けて、どのツールを使って、どんな頻度・スケジュールで、どんな内容を届けるのか。目的と数値目標はなんなのか。協力隊でも実現可能なのか」など。業務内容が少なくとも 2000 字程度は書かれている必要があります。

その上で、業務の内容が「面白そう」と感じられることが第二の要素です。何を面白さと感じるかは人によって違います。仕事の中身のユニークさ、一緒に働く仲間の魅力、身に付くスキル、圧倒的に特別な環境などがあるでしょう。『これがうちの協力隊業務の面白さだ』と自信を持って言えるものを探し出す努力をしてください。「自然が豊か、人が優しい、ちょうどいい田舎」のような外的環境の話ではなく、業務の面白さです！厳しいようですが、担当する職員自身が面白いと思っていない業務は、応募者も魅力を感じません。

西塔さんは 12 月 21 日（木）に開催される「地域おこし協力隊自治体職員向け研修会（第 1 回）」で講演されます。

各自治体の地域おこし協力隊制度所管課のみならず、受入担当課、人事担当課ご担当者向けの研修会です。ぜひ、ご参加ください。

お申し込みは各市町村あてお知らせしている URL からお願いいたします。

【5】「道南地域おこし協力隊ネットワーク」活動状況報告

道南地域おこし協力隊ネットワーク代表の藤谷さん（八雲町地域おこし協力隊）より、ネットワークの活動状況についてお知らせです！

道南地域おこし協力隊ネットワーク代表、八雲町地域おこし協力隊の藤谷です。今回は道南地域おこし協力隊ネットワークの 10 月、11 月の活動を報告させていただきます。

① NoMaps はこだてに登壇、出展させていただきました

10 月 6～8 日にはこだて未来大学にて行われた「NoMaps はこだて」に道南地域おこし協力隊ネットワークとして登壇、ブース出展をさせていただきました。

登壇ではまちづくりをテーマに地域で活躍する 3 名の方と私でトークセッションを行いました。3 名の方は私より遥かに経験も実績もある方なので、この場に入れていただいていることに恐縮しながらも、私自身学びになるお話や共感できる考えが多くありました。

そして私なりに道南地域おこし協力隊ネットワークを通して道南のまちづくりにどう貢献していきたいかをお話させていただきました。この機会を通して改めて活動に対する思いやこれまでの活動を振り返ることができたことが良かったと思います。

ブース出展を見て、声をかけていただいたり、SNS をフォローしていただくこともでき嬉しかったです。

総じて、道南って面白いな、もっと盛り上げていきたいと感じる場面が多くあったイベントでした。

② 協力隊担当職員を対象とした研修会を開催しました

10月21～22日に函館市のシエスタハコダテで行われた「道南フェスティバル」にて協力隊担当職員を対象とした研修会を道南地域おこし協力隊ネットワーク主催で開催しました。

当日は講義として、地域おこし協力隊アドバイザーの野口様からより良い募集要項作成のポイントや協力隊活用に関しての要点を解説いただき、Fanfare-あびら起業家カレッジ-の小町谷様、安平町役場の橋本様よりフリーミッション型の協力隊活用のポイントや事例紹介をいただきました。

当日は約20名の方にご参加いただき、講義後には講師を交えてフリートークも行いました。

参加いただいた方からは「今後も募集を控えているので、今回の話を受けて募集要項を見直してみたいと思った」「先進事例を聞くことができ良かった」などポジティブな感想を多くいただくことができました。

私たち自身も学びになることが多くあり、手応えを感じることができたので今後もニーズを捉えながら、定期的に研修会を開催していきたいと思っています。

③ おむすびプロジェクト実施しました

道南地域おこし協力隊ネットワークの代表的な活動であるおむすびプロジェクト。10月、11月も活動を行いました。

10月は上記の道南フェスティバルにておむすびプロジェクトの活動紹介をする機会があり、それと合わせておむすびを提供させていただきました。

この日は厚沢部町産のまいたけと乙部町産のさつまいもを鹿部町の根昆布だしで炊きこんだおむすび、八雲町熊石の海洋深層水の塩を使った塩おむすび、森町産のひこま豚となす、昆布を使い、木古内町のレストランで作っていただいた肉みそおむすびと道南食材をふんだんに使ったおむすび3種を提供しました。

11月には八雲町で行われた「やくもエコ広場」というイベントに出店させていただきました。この日は前回から引き続き、まいたけのおむすびと肉みそおむすびに加え、木古内町のひじきの佃煮おむすび、厚沢部町産の山ごぼうと噴火湾産のホタテを使った炊き込みおむすびの4種を提供させていただきました。

特に「やくもエコ広場」は子供連れの家族が多く、子供から大人まで味わっていただくことができました。嬉しいお言葉もたくさんいただけたので、まだまだ美味しいものが出てくる冬も定期的に活動できればと思っています。

【お問い合わせ先】

▼道南地域おこし協力隊ネットワーク代表 藤谷 周平

▼電話：070-4559-4725

▼Email：shuhei.fujjya.yakumo@gmail.com

【6】「とがち地域おこし協力隊ネットワーク（TCN）」活動状況報告

とがち地域おこし協力隊ネットワーク（TCN）副代表の磯野さん（広尾町地域おこし協力隊）より、ネットワークの活動状況についてお知らせです！

とがち地域おこし協力隊ネットワーク（TCN）副代表です！

全道各地で協力隊ネットワーク設立の機運が高まりつつある状況下、私たち TCN も十勝管内のみならず、さまざまな地域の協力隊と交流する機会に恵まれてきました。

10/14-15 にかけては、留萌管内地域おこし協力隊と留萌振興局が主催する「オロロンキャラバン」に参加してきました。

TCN でも協力隊活動を視察するキャラバン式ツアーを実施していますが、オロロンキャラバンでは一泊二日の宿泊型。二日間かけて留萌管内を縦走し、各地で活躍する協力隊の取り組みを学びました。

宿泊型のキャラバンは視察研修的な意味合いに加えて、ほかの参加者とじっくり交流を深めることができるので、ぜひ TCN にも取り入れたい形態でした。

全道研修交流会後の 11/7-9, 道南地域おこし協力隊ネットワークの現場視察に足を運びました。道南地域の協力隊と対面したのはほぼ初ですが、ネットワーク立ち上げ前からオンライン交流会を通して定期的に親交を深めていました。

なので「やっと会えた！」という印象が強かったです。

今回訪れたのは八雲町と木古内町。

八雲町ではペコレラ学舎に赴き、施設内を見学した後にそのまま一泊しました。

コワーキングやキャンプ、自炊などが可能なペコレラ学舎は道南地域おこし協力隊ネットワークのひとつのベースとしても活用されています。

拠点施設があれば、座学以外にもそこをフィールドとした多様な催事が展開できるので、将来的に私たち TCN も設ける必要があると改めて感じました。

木古内町では道の駅内に立地するレストラン「どうなん de's」を訪れました。

お目当ては名物の塩パンだったのですが、ランチにいただいたパスタの美味しいこと美味しいこと。

このレストランも道南地域おこし協力隊ネットワークの活動のなかで頻繁に舞台となっており、協力隊とローカルプレイヤーの結びつきを強く感じる場所でした。

ほかにも、ネットワーク設立や地域間交流の一環で、空知、上川、オホーツクなどの協力隊とオンラインで交流を図ってきました。

協力隊ネットワークは単に管内協力隊の結束力を高めるだけでなく、地域横断的な人流を活性化させる役割をも担っていると考えています。

事実、他地域との交流を深めたことで、私たち自身も十勝以外の協力隊活動に触れる機会が増えましたし、TCN 主催の各種イベントに参加する管外の協力隊も大きく増加しました。

引き続き協力隊同士の相互理解が深まり、また地域間で「学び合える」ような TCN 発の企画を多数打ち出していきます。

Facebook や Instagram, メルマガなどに随時情報発信しますので、興味関心のある催事を見つけたら、是非アプローチいただけたらと思います。

【お問い合わせ先】

▼とちかち地域おこし協力隊ネットワーク事務局副代表 磯野 巧

▼Email: tcn.manage@gmail.com

【7】【日本政策金融公庫】創業セミナーのご案内

日本政策金融公庫創業支援センターよりセミナー開催のお知らせです！

○First Step! はじめての創業セミナー

起業を考えている方が金融機関に初めて相談する様子を「寸劇」で見せながら、起業に役立つ情報や知っておきたいポイントを解説するセミナーです。

